

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4	1	0	部屋のスペースに比べて利用者の人数が少ない時もあるが、その場合は椅子などで仕切り活動ができるように配慮している。
	②	職員の配置数は適切であるか	4	1	0	配置数は適正である。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	0	2	0	現在の利用者の特徴には適切である。
業務 改善	④	業務改善を進めるための P D C A サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	3	1	1	引継ぎ会や定例会議を行い、職員が共通意識をもって支援している。会議で目標の設定と振り返りを行っている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4	1	0	お迎えの際や日頃の連絡帳のやりとりから、保護者の方の意見を吸い上げ、今後の支援に活かせるようにしたい。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	3	2	0	施設内で結果が閲覧できるようにするとともに、運営法人のホームページで公開を行っている。保護者の方にはその旨を通知している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2	1	2	デイは対象外だが、学園として第三者評価を受けており、評価結果を業務改善につなげるようにしている。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5	0	0	オンラインの講座と対面講座を組み合わせ、全スタッフが受けられるように工夫されている。
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	0	0	子どもの現在の発達段階を適正に評価した上で、保護者の方と面談を行い、ニーズや課題を共有し、計画を立てている。今年度は、コロナ感染予防のため、電話でニーズの聞き取りを行った。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	2	2	1	
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4	1	0	その時々の子どもの状態に応じて、その日の活動リーダーが主体となってプログラムを立案している。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5	0	0	リズム体操、戸外歩行、製作等、その日の子どもの状態に応じて柔軟にプログラムを立案している。また、季節のイベントなどの企画も積極的に取り入れている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4	1	0	平日は、帰宅後に落ち着いて生活できるよう活動量や情緒の安定に留意し課題や活動を設定している。長期休暇には、生活リズムが整うよう運動量を増やしたり、季節に応じた取り組みを行うなどしている。（土日については今年度は閉室。）
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	4	1	0	個々の現状に合わせて、集団の中で個別にアプローチするプログラムと、個別に課題に取り組むプログラムを組み合わせ計画を作成している。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4	0	1	開始前に内容や役割分担を確認している。支援中も内容や役割は即時にスタッフ間で共有できるようにしている。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4	1	0	子どもの様子や気付いた点等引継ぎ事項をまとめ、日誌に記入し情報を共有するようにしている。緊急の事案は、メールやラインで迅速に共有している。
⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5	0	0	毎日活動日誌に個々の具体的な様子を記録し、必要事項はその日のうちに共有、会議の場で取り上げるようにしている。日誌に引継ぎ事項を記入しているが、確実に情報共有できるよう徹底していきたい。	

	⑮	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5	0	0	6ヵ月ごとにモニタリングを実施し、計画の見直し、新たな目標設定の必要性等を判断している。
	⑯	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	1	4	0	コロメゾッドの基本活動をはじめ、利用者の状況に合わせてさまざまな内容を組み合わせて必要なプログラムを設定している。
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4	1	0	コロナ禍のため、今年度は会議に参加する機会はなかった。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	5	0	0	年度はじめに行事予定について確認し、学校の送迎時や支援者会議に出席し、子どもの情報共有を行っている。
	㉒	医療的ケアが必要な子供を受入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	0	4	1	医療的ケアが必要なお子さんは現在在籍していないため、今後利用希望がある場合は検討していく。発作時の対応は契約時に保護者と細かく打ち合わせている。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	1	0	4	今後、積極的に行う必要性を感じている。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	1	3	1	まだ対応例がない。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	0	4	1	西多摩保健所のアレルギー対応研修を受講した。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0	1	4	今年度はコロナ感染防止のため、そのような機会を設けることができなかった。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	2	2	1	
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5	0	0	連絡帳でのやりとりや送迎場面で、必要な情報は共有し、個別支援計画の面談等で子どもの状態について共通理解の場を設けている。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	2	3	0	面談で対応している。
保護者への説明責任等	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5	0	0	契約時に丁寧に説明を行うよう心がけている。
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4	1	0	必要に応じて電話相談や、個別支援計画の面談とは別に面談を設定し、助言をしている。今年度は、感染予防のため電話相談が主となった。
	㉒	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	0	1	4	感染予防のため保護者会の設置はないが、療育の重要性や家庭療育のヒントになる情報をお便りで発信している。
	㉓	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5	0	0	保護者からの苦情を速やかに適切な対応ができるよう苦情解決責任者を置いている。
	㉔	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5	0	0	毎月法人発行のおたより（学舎通信）でレクリエーションの様子や日々の活動の様子を伝えている。

	⑳	個人情報に十分注意しているか	5	0	0	
	㉑	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5	0	0	子どもの様子は常に観察し、気になる様子があればすぐに保護者に伝えるよう努力している。
	㉒	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	1	3	今年度はコロナ感染防止のため、そのような機会を設けることができなかった。
非常時等の対応	㉓	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	5	0	0	マニュアルを策定し施設内で閲覧できるように整備しているが、保護者への周知は徹底できていない。
	㉔	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4	1	0	年3回避難訓練を実施している。お便り等で訓練後は保護者に報告している。
	㉕	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5	0	0	虐待防止委員会を開催し、支援の振り返りや見直しをしている。法人主催の人権研修に参加している。
	㉖	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	4	1	0	今まで拘束の例はないが、今後、身体拘束の必要性が生じた場合は、組織的に決定し、子どもと保護者への事前説明を行い、同意を得た上で行っていく。
	㉗	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	2	2	1	該当児はいないが、西多摩保健所の研修に参加した。また、アレルギーではないが薬との飲み合わせでグレープフルーツが食べられなかったり、歯の矯正でガムが食べられないなどは対応している。
	㉘	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5	0	0	その日のうちにヒヤリハットを作成し、全職員が閲覧できるよう掲示し、共有している。半期ごとに行われる、学園内の事故防止委員会で、ヒヤリハットの内容を共有し、原因分析を行い予防・改善に向けて検討している。